



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月27日

上場会社名 株式会社エヌエフホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6864 URL <https://www.nfhd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 高橋 常夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉沢 直樹 (TEL) 045-545-8101  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,188	△7.6	93	△69.5	164	△55.0	123	△47.5
2022年3月期第2四半期	4,535	△5.0	307	15.4	366	29.7	235	24.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 117百万円(△67.4%) 2022年3月期第2四半期 362百万円( 38.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 17.66	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	33.61	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第2四半期	百万円 17,922	百万円 13,215	% 66.6
2022年3月期	18,637	13,417	64.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,933百万円 2022年3月期 12,035百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△1.5	350	△63.2	440	△58.4	300	△51.3	42.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

\*業績予想の修正につきましては、本日(2022年10月27日)公表の「2023年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	7,070,000株	2022年3月期	7,070,000株
2023年3月期2Q	51,226株	2022年3月期	51,226株
2023年3月期2Q	7,018,774株	2022年3月期2Q	7,018,896株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更に関する注記)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 業績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、特に7月以降新型コロナウイルス感染第7波がピークを迎えたものの、ウイズコロナに向けて緊急事態宣言等の行動制限を伴う措置が取られることはなく、社会・経済活動の正常化に向けた動きが活発化しております。一方で、ウクライナ情勢の長期化などを受けたエネルギー・原材料価格の高騰や、急激かつ大幅な円安の進行により、国内経済の不透明感は引き続き高まっております。また、製造業においては、ウイズコロナの定着や6月の上海ロックダウン解除により、サプライチェーンの混乱収束が徐々に期待される状態にあるものの、引き続き一部で部材供給の遅れが発生するなど、部材の調達やコスト面で不安定な状況が続いております。

当社グループでは、経済活動正常化に向けた動きの中で、計測制御デバイス関連分野と電源パワー制御関連分野で受注は好調に推移したものの、売上では部材不足による生産遅延の影響を大きく受けました。また、環境エネルギー関連分野では、一般家庭向け商流からの受注がコロナ禍で落ち込み、売上回復が想定以上に低迷する厳しい状況で推移しました。

このような中、当社グループにおきましては、生産部材確保の活動強化、生産拠点での製造インフラ強化、生産性向上によるコストアップ抑制、グループ横断での営業展開、業務全般の効果効率向上などに取り組みました。また、当社グループの強みを活かした新商品開発や将来成長に向けての基礎研究の持続的な展開を図りました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間における売上高は4,188百万円（前年同期比7.6%減）、損益面では経常利益164百万円（前年同期比55.0%減）、四半期純利益133百万円（前年同期比53.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は123百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

## ② 営業の分野別状況

当社グループは、電子電気機器等の製造、販売を行っており、セグメントは単一となります。なお、当社グループにおける製品関連分野別売上の概要は、次のとおりとなります。

## 《計測制御デバイス関連分野》

計測制御デバイス関連分野では、研究開発や生産設備投資などが好調な社会インフラ関連・半導体製造装置関連など向けに、周波数特性分析器、微小信号測定器、電子計測器及び電子デバイス関連などの商品が順調に推移しました。一方で、一部自動車関連や、防災関連向けの計測システムなどの商品が低調に推移しました。

以上の結果、計測制御デバイス関連事業分野の売上高は917百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

## 《電源パワー制御関連分野》

電源パワー制御関連分野では、研究開発や生産設備投資が活発な産業機器・家電・電子部品関連向けに、各種カスタム交流電源システム、汎用直流電源、表面処理用電源などが堅実に推移しました。

以上の結果、電源パワー制御関連事業分野の売上高は、1,507百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

## 《環境エネルギー関連分野》

環境エネルギー関連分野では、家庭用蓄電システム商品の一般家庭向け販売回復の遅れで、低調な推移となりました。

以上の結果、環境エネルギー関連事業分野の売上高は、1,543百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

## 《校正・修理分野》

校正・修理分野では、販売製品のメンテナンスサービスに注力し、売上高は220百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産、負債、純資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、棚卸資産などが増加したものの、現金及び預金、売掛債権などが減少したことにより、前連結会計年度と比較して714百万円減少し17,922百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、512百万円減少し4,706百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、202百万円減少し13,215百万円となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、3,619百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは358百万円の減少となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益200百万円、売上債権の減少574百万円などにより増加したものの、仕入債務の減少323百万円、棚卸資産の増加475百万円などにより減少したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは781百万円の増加となりました。

これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出121百万円などにより減少したものの、定期預金の純増減額857百万円などにより増加したことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは329百万円の減少となりました。

これは主に、配当金の支払209百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年10月27日公表の「2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,105,831	5,341,888
受取手形及び売掛金	2,674,983	2,283,845
電子記録債権	754,479	570,633
商品及び製品	1,360,942	1,079,902
仕掛品	1,002,945	1,447,948
原材料	1,843,605	2,156,201
その他	153,350	225,714
貸倒引当金	△2,346	△1,579
流動資産合計	13,893,791	13,104,553
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,951,082	1,951,082
その他(純額)	1,652,435	1,754,370
有形固定資産合計	3,603,518	3,705,453
無形固定資産		
投資その他の資産	1,006,827	947,412
固定資産合計	4,743,257	4,817,500
資産合計	18,637,048	17,922,054
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	661,231	524,265
電子記録債務	951,867	797,748
短期借入金	320,000	220,000
未払法人税等	256,811	66,327
賞与引当金	249,835	211,692
役員賞与引当金	47,200	—
製品保証引当金	14,567	18,956
その他	662,883	616,809
流動負債合計	3,164,396	2,455,799
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,530,000	1,720,000
退職給付に係る負債	122,213	123,418
長期未払金	54,045	52,268
資産除去債務	25,528	25,581
その他	23,543	29,888
固定負債合計	2,055,331	2,251,156
負債合計	5,219,727	4,706,956

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,317,200	3,317,200
資本剰余金	1,313,033	1,313,033
利益剰余金	7,277,498	7,190,866
自己株式	△23,739	△23,739
株主資本合計	11,883,993	11,797,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,951	136,519
その他の包括利益累計額合計	151,951	136,519
非支配株主持分	1,381,376	1,281,217
純資産合計	13,417,320	13,215,098
負債純資産合計	18,637,048	17,922,054

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,535,285	4,188,490
売上原価	2,954,599	2,807,051
売上総利益	1,580,686	1,381,439
販売費及び一般管理費	1,272,954	1,287,502
営業利益	307,731	93,937
営業外収益		
受取利息	59	40
受取配当金	16,941	16,641
開発負担金収入	40,154	59,754
その他	9,431	6,011
営業外収益合計	66,587	82,447
営業外費用		
支払利息	6,633	5,148
為替差損	557	4,867
その他	955	1,553
営業外費用合計	8,146	11,569
経常利益	366,172	164,814
特別利益		
固定資産売却益	99	—
投資有価証券売却益	33,515	35,352
特別利益合計	33,614	35,352
特別損失		
固定資産除却損	995	28
特別損失合計	995	28
税金等調整前四半期純利益	398,791	200,138
法人税、住民税及び事業税	84,386	28,170
法人税等調整額	30,855	38,595
法人税等合計	115,241	66,765
四半期純利益	283,550	133,372
非支配株主に帰属する四半期純利益	47,653	9,441
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,897	123,931

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	283,550	133,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,642	△15,431
その他の包括利益合計	78,642	△15,431
四半期包括利益	362,193	117,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,539	108,499
非支配株主に係る四半期包括利益	47,653	9,441

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	398,791	200,138
減価償却費	114,822	112,818
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,011	△766
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2,554	4,388
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59,173	△38,142
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53,250	△47,200
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10,193	1,204
受取利息及び受取配当金	△17,001	△16,681
支払利息	6,633	5,148
有形固定資産売却損益 (△は益)	△99	—
有形固定資産除却損	995	28
投資有価証券売却損益 (△は益)	△33,515	△35,352
長期未払金の増減額 (△は減少)	△7,193	△1,777
売上債権の増減額 (△は増加)	365,796	574,983
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△814,002	△475,745
仕入債務の増減額 (△は減少)	△225,011	△323,160
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△110,724	△69,215
その他	△96,494	△6,911
小計	△543,185	△116,243
利息及び配当金の受取額	17,001	16,681
利息の支払額	△6,650	△5,220
法人税等の支払額	△96,747	△253,760
法人税等の還付額	175,402	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△454,180	△358,542
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	857,370
有形固定資産の取得による支出	△194,699	△67,658
無形固定資産の取得による支出	△21,434	△54,222
有形固定資産の売却による収入	99	—
資産除去債務の履行による支出	△2,200	—
投資有価証券の取得による支出	△4,062	△3,866
投資有価証券の売却による収入	35,304	53,258
その他の支出	△1,763	△3,527
その他の収入	267	338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,488	781,691
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△10,000	△110,000
社債の償還による支出	△10,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△381	△254
自己株式の取得による支出	△248	—
非支配株主への配当金の支払額	△38,800	△109,599
配当金の支払額	△210,499	△209,867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,929	△329,722
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△912,598	93,427
現金及び現金同等物の期首残高	5,534,054	3,526,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,621,455	3,619,609

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めておりました「為替差損」は、当第2四半期連結累計期間において金額的重要性が増したため、区分掲記しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれている「為替差損」は、557千円です。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。